

経営者の
右腕となれ！
を追加しました。

第12回

もの作り！ 管理者養成学校

内容を
大きく
見直し！

4ヶ月集中講座

—— プロの管理者にしてお返しします！ ——

対象者

職種／製造、生産・品質・原価管理、資材購買、外注管理、設計、生産技術部門で働いている人
役職／主任、係長、課長、部長、工場長クラスの人、中小企業の経営者でいちからもの作り経営を学びたい人

※ノウハウ保持のため、同業者の参加はお断りいたします。

【講師】収益改善コンサルタント：西田順生(にしだ じゅんせい)

1977年神奈川大学工学部工業経営学科へ入学し、生産管理に魅了される。1981年同学科卒業。(株)村田製作所グループ及び(株)EIZOにて生産管理・外注管理・購買の実務を経験。多くの納期・品質・原価の改善実績を持つ。若干36歳で国家資格技術士(経営工学部門)に合格。1996年コンサルタントとして独立。

現在、「製造業のための」収益改善コンサルティング会社:株式会社 西田経営技術士事務所 代表取締役を務める。

2006年「収益改善プログラム(IPP)」を開発。多くの会社に導入され、年間数千万～数億円の利益アップの実績を上げている。

豊富な経験に裏打ちされた平易な説明には高い評価があり、主に首都圏、東海、近畿、九州地区の製造業に対して、経営指導を精力的に行っている。

〈講師実績〉

みずほ総合研究所……………14回
日本経営合理化協会……………20回
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)…28回
その他大手、官公庁……………22回
自社主催……………54回

〈主著〉

『値決め経営』日本経営合理化協会より『儲けの9割は「値決め」で決まる!』『5人分の仕事を3人で回す「ムダ時間」削減術』『買い叩かれない会社の3つの戦略』『緊急!収益改善会議』以上KADOKAWAより、『作る前にコストダウンする技術』、『粗利を2倍にする価格決定論』以上PHP研究所より、その他多数あり。

—— 生産管理と出会って42年——
株式会社 西田経営技術士事務所
代表取締役・技術士

西田順生



“製造業のための”収益改善コンサルティング会社
株式会社 西田経営技術士事務所

あるプロ野球選手の話です。——「長打を打つためには、ダウンスイングに心がけ、ボールの中心点よりやや下をたたき、上向きのスピンをかけないとボールを遠くに飛ばすことができない。これがバットイングの原理原則である。しかし素人は、この原理原則を知らずに「ただ遠くに飛ばすぞっ!」といった気持ちだけが先行し、アッパースイングになっている。このようなスイングを何千回何万回行っても、クリーンヒットは期待できない。」——と。

この話は、もの作りの現場へも適用できます。

経営者であれば、もの作りには材料を加工するといった「固有技術」と工程管理・品質管理・原価管理といった「管理技術」の二つがないと上手に商売ができないということは、理解されておられます。

しかし現実には——。「最近利益率が低くなって来た」とか、「納期に追われているだけで、何をしているのかわからない」とか、「不良ばかりでクレームが絶えない」といった現象が顕著になっている工場が増えています。

このように至る原因は、私は現場や実務のキーマンである管理者が、「生産管理の原理原則」を知らずに、「勘・経験・度胸」だけで仕事をしているからだと思っています。

その証拠として、管理者につきの質問をしてみてください。「原単位とは何か?」——。ズバリ申し上げて、この答えを出せないような管理者は、「生産管理の原理原則」を知らない人たちです。このような管理者が、いくら多くの汗をかいたとしても「労多くして益なし」の状態が続くだけで、一向に会社は良くなりません。

あなたの会社が、このような様相を呈しないよう、今すぐ管理者に対する本格的な教育を施す必要があります。

このセミナーでは、管理者が現場で即活させる手法が「スツ」と分かるように、演習や実習をたくさん盛り込んであります。

もちろん、生産管理の基礎的なことから、応用編まで幅広くプログラムしてありますので、経営者の右腕になれる管理者を育成したい貴社にピッタリの内容になっています。

当社主催のセミナーは、最近満席になることが多くなっております。毎年好評のこの学校。お席の確保のために今すぐFAXを!



セミナーカリキュラム

プログラム【第1日目】 経営者の右腕となれ!

■セッションI 真の工場管理者になる

1. ムダの80%は、管理者が作っている!	管理監督者に起因する“5つのムダ” 工場にはびこる“7つのムダ”
2. 先人たちのムダとりの技	テイラーの科学的管理方法、フォードの流れ生産などを学ぶ 「改善精神基本10ヶ条」を念頭に置く
3. 部下や他部門を上手に動かせ	理想の姿を見せよ PDCAを回せ 「トラブル解決手順」を習得せよ

■セッションII 経営者のつもりで働く

1. もっと、もっと利益を増やせ!	利益を上げることに“しゃかりき”になれ 会計資料の見方・使い方 生産指標で仕事をせよ(実習)
2. 先人たちの経営理論に学ぶ	ファイヨールの管理論、マズローの欲求五段階説などを学ぶ

■セッションIII そのためにももの作りの基本から知ろう

生産管理以前のお話	需要の三要素を説明できるか? 生産の四要素を説明できるか? まずは、受注生産と見込み生産の違いを知る そもそも、生産管理って何?
-----------	---

■セッションIV 生産計画で経営が決まる

1. 生産計画が生命線	工程管理の2大機能を知る 生産計画の種類を知る 生産計画の正しい立て方(実習)
2. 生産計画通りに作るワザ	生産統制の3つのワザを駆使せよ 納期にもいろいろある すぐできる納期遅延予防策

■セッションV 宿題

工場診断を実施し、問題点を見つけて改善する	工場診断の進め方、個人ミッションの作成と改善の実行
-----------------------	---------------------------

プログラム【第2日目】 4Mを徹底管理せよ——その1

■セッションI Man:作業者の上手な管理方法

1. 作業研究が基本	モノ作りの基礎:作業研究を学ぶ 標準時間を持たずして、物を作ってはいけない! 自社にあった標準時間の算定方法を学ぶ ムダとりの定石:動作経済の20原則を知れ!
2. 作業者のレベルを上げる方法	スキルマップで現状レベルを見よ スキルアップ計画で育成せよ 手順書には文章を書くな!写真で良い
3. ムダ取りの技を習得せよ	作業工程分析でムダをとる(実習)

■セッションII Machine:設備の上手な管理方法

1. “設備6大ロス”を知る	操業率、負荷率、稼働率の違いを知っているか? 設備6大ロスを知る 設備総合効率を使って、フル稼働へ(実習)
2. 故障ロス・チョコ停を削減する技	故障ロス・チョコ停削減ストーリーを使い! “ロス削減5大ツール”を使いこなす マン・マシン分析で、人と機械を最適に組み合わせろ!(実習) ワークデザインの技で効率的に作業配分せよ(実習)

■セッションIII 宿題

前回の宿題のフォローアップ	工場診断の進め方、個人ミッションの作成と改善の実行
---------------	---------------------------

本校から体得できるノウハウ

- (1) 管理者として最低限知っておかねばならない“もの作りの常識”
- (2) 原価上昇、品質・納期トラブル解消のための広義の生産管理技術
- (3) 4M(作業者、設備、材料、製造方法)を上手に管理する手法
- (4) 多品種少量、短納期に勝つ方法

本校の特徴

- (1) 毎月1回×4ヵ月間開催
- (2) 頭と体で学べる
- (3) 双方向の研修
- (4) 生産管理の基本から指導



このような企業様へ

- (1) 過去、管理者に対して、体系的な生産管理教育をしてこなかった企業様
- (2) 次世代の管理者に対して、体系的な生産管理教育を実施したい企業様
- (3) もの作りの基本すら知らない管理者をいちから教育したい企業様
- (4) 経営者の意図をくんだ仕事をしない管理者を再度教育したい企業様
- (5) 納期遅延をいつまで経っても解消できない管理者を基礎から教育したい企業様
- (6) 品質問題をいつまで経っても減らせない管理者を基礎から教育したい企業様
- (7) 原価意識をもって仕事をしない管理者を基本から教育したい企業様
- (8) 作業員に対して、管理者の立場で話せない管理者をなんとかしたい企業様

プログラム 【第3日目】

4Mを徹底管理せよ——その2

■セクションI Material:材料の上手な管理方法

1. 上手な外注管理・ 購買管理	まずは外注と購買の違いを知る
	外注品の品質・納期トラブルの解決策 購買の品質・納期トラブルの解決策
2. 材料費を下げる	仕入単価を継続的に安くする方法 材料ロスをとことん減らす方法
3. 外注費を下げる	外注方針を決めよ 相見積方式では下らない
4. 正しい発注方式で 欠品をなくせ	“発注点方式”が諸悪の根源 “2大発注方式+1”を知る
5. 正しい在庫管理で 欠品をなくせ	“在庫”にもいろいろある—在庫の種類を知ろう! 在庫差異を減らせば、バタバタは止まる—— その方法(実習)

■セクションII Method:方法の上手な管理方法

1. 技術力が将来を 決定づける	固有技術と共有技術の違いを説明できるか?
	製品設計と生産設計の違いを説明できるか? 図面より大切な“技術標準”
2. 質の高い製品設計、 工程設計のやり方	新製品立ち上げ管理の技術で、初期トラブルを撲滅せよ! 儲けるためのデザイン・レビューをする “デザイン・イン”で、より良い品質でより安く
3. コストダウンの王道	VEを使ってコストダウン
	ECRSを使ってコストダウン(実習)

■セクションIII 宿題

前回の宿題の フォローアップ	工場診断の進め方、 個人ミッションの作成と改善の実行
-------------------	-------------------------------

プログラム 【第4日目】

原価・品質管理の基本と 多品種少量・短納期生産

■セクションI 経営の基本・原価管理の基本を知る

1. 原価とは	原価と価格を混同するな!
	2つの原価を知る
	そもそも原価管理って何?
2. 原価計算の基本	原単位を設定せよ
	レートを設定せよ(実習)
3. 原価管理のイロハ	コストコントロールの技術
	コストリダクションの技術

■セクションII 品質を重視すれば結果的に儲かる

1. 品質とは	そもそも品質とは何か
	品質特性で決まる
	品質特性の決め方のポイント(実習)
2. 不良・クレームを 撲滅させる	不良発生の原因の50%は、工場以外にある! 再発防止徹底の技法

■セクションIII 多品種少量・短納期に勝てるもの作りへ

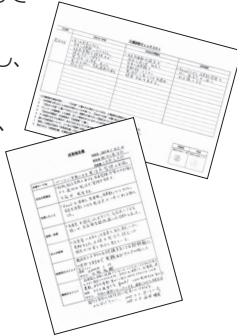
1. 多品種少量・短納 期に勝つ方法	なぜ多品種少量・短納期生産が横行するのか 知る
	多品種少量・短納期生産を上手に行う技
2. 段取り時間を削減 せよ	どうすれば上手に進むか?その9ステップ(実習)
3. リードタイムを 削減せよ	なぜリードタイムの短縮が必要なのか
	まずは、リードタイムの種類を知る すぐ出来る製造リードタイム短縮のテクニック

■セクションIV 宿題

前回の宿題の フォローアップ	工場診断の進め方、 個人ミッションの作成と改善の実行
-------------------	-------------------------------

理解を深めるための4つの仕掛け

- (1) 講師が講義したことを受講生がメモしていかなないと、次の設問に回答できなくなったり、宿題がこなせなくなったりするよう仕掛けてあります。
- (2) 全4日間で75個以上の設問を設けてあります。それに回答していくことでより理解を深めていただけるように仕掛けてあります。
- (3) なお重要な項目については、全9回の実習を用意してあります。これによって体で覚えていただくよう仕掛けてあります。
- (4) さらに毎回の研修後に宿題を課し、次回提出していただくようにしてあります。具体的には、
 - ① チェックシートを使って「工場診断」を実施し、
 - ② 問題点を抽出し、
 - ③ 改善についての「個人ミッション」を作成し、
 - ④ 実際に改善をしていただきます。
 - ⑤ さらにその結果を「成果報告書」に書き、
 - ⑥ 経営層のチェックを受け、
 - ⑦ 次回研修会に持参して頂き、
 - ⑧ それを講師が評価します。



- | | |
|------------|-------------|
| ◆2006年 第1回 | ◆2013年 第7回 |
| ◆2007年 第2回 | ◆2014年 第8回 |
| ◆2008年 第3回 | ◆2015年 第9回 |
| ◆2010年 第4回 | ◆2016年 第10回 |
| ◆2011年 第5回 | ◆2018年 第11回 |
| ◆2012年 第6回 | |

なお、個別企業様への訪問研修は、過去16年で33回以上実施しております。

受講者の声

- 自分の会社の混乱原因が、生産管理にあるということが分かりました (東京都のHさん)
- セミナーを受講後、新たな気持ちで現場に帰られたことが一番の収穫 (東京都のIさん)
- 生産管理技術の再認識と同時に、自分の至らぬ点がはっきりとしました (埼玉県のDさん)
- 演習や実習が中心だったので、眠くならなかった (千葉県のスさん)
- 実習を取り入れた研修会だったので、すぐわかりやすくて良かった (静岡県のMさん)

◆実施日時

- 第1日目：2019年1月24日(木) 10:00～16:30
 第2日目：2019年2月21日(木) 10:00～16:30
 第3日目：2019年3月19日(火) 10:00～16:30
 第4日目：2019年4月18日(木) 10:00～16:30

◆場所

機械振興会館
 〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8

◆参加費用

全4回の総合計：108,000円/1人(税込み価格)
 4回コースを分割して受講することはできません。
 また途中欠席されても返金はできませんので、ご了承ください。

◆セミナーのお申し込み方法

下記用紙にて、今すぐFAXして下さい。

◆代金のお支払い方法

FAX受領後日、受講票及び請求書を郵送させていただきますので参加料金を指定口座にお振込み下さい。

◆主催・お問い合わせ先

株式会社 西田経営技術士事務所
 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町8番2号
 BIZMARKS日本橋茅場町1F
 TEL 03-6411-1264
 FAX 03-6411-1265
<http://www.ni-g-j.co.jp>
 e-mail:daihyou@ni-g-j.co.jp
 お問い合わせ担当者 業務：西田^{まみ}麻美

セミナーNo.190124「もの作り！管理者養成学校」セミナー申込書

FAX 03-6411-1265 (24時間受付中！)

ふりがな			
会社名			
所在地	□□□□ □□□□		
TEL番号			FAX番号
連絡担当者	部署	氏名 (ふりがな)	
参加者	役職名	ふりがな 氏名	役職名 ふりがな 氏名
	役職名	ふりがな 氏名	役職名 ふりがな 氏名
	役職名	ふりがな 氏名	役職名 ふりがな 氏名

※入手した個人情報につきましては、本セミナーの連絡および弊社活動のご案内のみに使用させていただきます。

※当社代表取締役 西田順生は、わが国の「技術士法」によって、「守秘義務」「信用失墜行為の禁止」が課せられていますので、ご安心ください。